
2016 年天文教育普及研究会年会のお知らせ

寺菌淳也（年会実行委員長・会津大学）

2016 年の天文教育普及研究会年会（第 30 回天文教育研究会）は東北支部が担当し、仙台市で開催します。本研究会としては東日本大震災後初の東北開催となります。夏の仙台といえば、天文ともゆかりの深い仙台七夕まつりが開催されるなど、観光シーズンでもあります。ホテルの確保などお早めの旅行計画をお願いします。

* * * * *

第 30 回天文教育研究会・2016 年天文教育普及研究会年会のご案内（会誌版第 1 報）

日時：2016 年 8 月 21 日（日）～ 8 月 23 日（火）

会場：東北大学 理学研究科合同 C 棟 2 階 青葉サイエンスホール

<http://www.sci.tohoku.ac.jp/campusmap/kita-aobayama/>

〔会場へのアクセス〕

最寄駅：仙台市営地下鉄東西線 青葉山駅 徒歩 1 分

- ・ JR 仙台駅から仙台市営地下鉄東西線に乗り換えて約 10 分
- ・ 仙台空港から JR 仙台駅までは、仙台空港アクセス線で約 30 分

〔メインテーマ〕 天文教育で日本を元気にする ～宇宙と親しみ、人とつながる～

今年のア天文教育研究会では、東日本大震災後初の東北開催ということも考慮し、「天文教育で日本を元気にする～宇宙と親しみ、人とつながる～」をメインテーマとしました。

平成 23 年（2011 年）に発生した東日本大震災では、東北地方を中心とする広範囲で未曾有の被害が発生しました。この震災から 5 年が経過し、復興支援は、いわゆる「ものの復興」（街や建物、インフラの再建）から、人々の心の復興（震災から立ち直り、自立へと導く支援）へと舵を切り替えることが求められています。震災直後から、特に甚大な被害を受けた岩手・宮城・福島各県では、天文教育関係者が、自分たちでできる数多くの震災支援（主に心の支援）を実施してきました。他の様々な「心の復興」の取り組みに比べると、天文・宇宙を利用した心の復興は、以下のような利点があります。

- ・ 空を見上げるとい、誰でもが行える活動を中心としているので、活動参加に対しての敷居が非常に低い。特に同じ星空を見ているということで、他の被災者との連帯を感じやすい。
- ・ 少人数でも大人数でも、また田舎でも街中でも行えるという柔軟性がある。
- ・ 天文・宇宙を通じた「見る側」と「行方側」の双方向性のコミュニケーションにより、コミュニケーションの円滑化、活発化が促進され、引きこもりがちとなる被災者にとって大きな心の支援につながる。

こうした被災地での天文教育支援の活動報告とそこから得た教訓や知見をもとに、そのような活動の主催者側と参加者側の両方の声を聞くことを通して、宇宙とその学びを通じた人的ネットワークのありかたとその価値について、本会では議論していきたいと考えています。

本研究会ではまた、このテーマとは直接関連しない天文教育普及に関する一般的な講演や議論も、学校教育・社会教育・一般教育というカテゴリーごとに行うことで、広く日本の天文教育普及に関する情報交換の場となる研究会を目指します。

〔招待講演（予定）〕

==全体企画「天文教育で日本を元気にする」==

高木浩一（岩手大学） 天文分野における被災地・避難先での活動
 柴田晋平（山形大学） 大船渡市での天文教育活動 星のソムリエ講座
 大船渡市関係者（調整中） 被災地での天文教育活動を受講して

==学校教育==

田中幹人（東北大学） 学士課程における PBL 型天文教育の実践
 遊佐徹（大崎生涯学習センター） 地元の学校教員からの支援の要望

==社会教育==

土佐誠（仙台市天文台） 仙台市天文台での活動

==一般教育==

堤明正（秋田大学） 能代市における宇宙教育活動
 高橋真理子（星空工房） 病院でのプラネタリウム

※招待講演者および講演タイトルについては予定であり、今後変更される可能性があります。

〔今後の予定など〕

申し込み方法や招待講演者紹介など、詳しい研究会案内（第2報）は4月以降に天文教育普及研究会公式 Web と Tenkyo メーリングリスト上、および「天文教育」5月号にてリリースの予定です。

〔問い合わせ先〕

ご不明な点は、以下のアドレスまでメールでお問い合わせください。

2016meeting@tenkyo.net

以下の実行委員が対応いたします。

実行委員長：寺菌淳也（会津大学）

実行委員（50音順）：荒木田英禎（日本大学）、安藤享平（郡山市ふれあい科学館）
 亀谷収（国立天文台水沢 VLBI 観測所）、亀谷光（仙台市天文台）

高田淑子（宮城教育大学）、津村耕司（東北大学）、嶺重慎（京都大学）